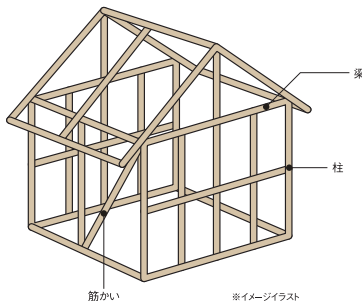


日本に古くから伝わる 伝統工法 「在来工法」

日本の伝統工法である在来工法（木造軸組工法）は、柱と梁を組み合わせ、さらに筋かいと呼ばれる木材を斜めに入れることで補強された工法です。



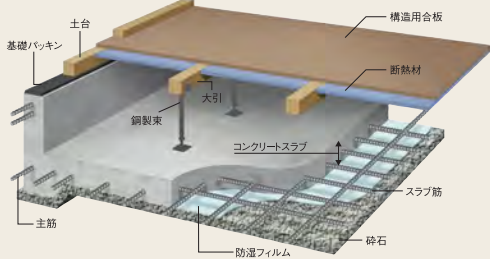
■木造軸組工法



高い耐久性と耐震性を発揮するベタ基礎工法

建物を地面に固定する基礎をより強固にするため、建築部分全面に鉄筋コンクリートを敷き詰めるベタ基礎を採用。優れた耐震性と安定性を叶えています。また、防湿フィルムを使用し、建築部分の土壌から発生する湿気を遮断。建物の耐久性をいっそう高めています。

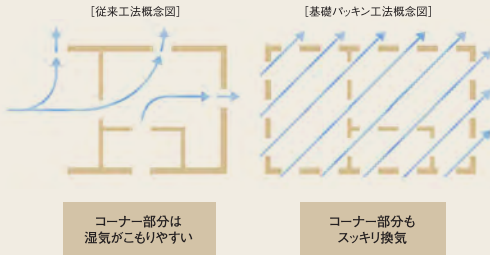
■ベタ基礎



床下換気

建物と土台の連結部分に基礎パッキンを挟む工法を採用し、基礎の強度を高めました。これにより、従来の床下換気口に比べ、1.5倍～2倍の換気量を実現。湿気がこもるのを防ぎます。

■基礎パッキン工法



軸組に面の強さをプラスした 六面体構造

建物を柱・梁という「線」で支える木造在来軸組工法に、体力壁・剛床という「面」をプラスした壁・床一体構造で、台風や地震に強さを発揮します。

強度にばらつきが少ない 集成材を使用（一部除く）

集成材は無垢材よりも高強度・高精度で安定性の高い建築素材。木材一本一本の性質を見極めて最適な組み合わせで接着したものです。

火災の被害を最小限にとどめる ファイヤーストップ構造

住宅の中にある火の通り道を防ぎ、火の回りを抑える「ファイヤーストップ構造」を標準装備。万一の火災発生時に、床下や壁内部のすき間、天井裏など空気の流れにそって燃え広がるのを防ぎ、出火地点から他の部屋への火の回りを最小限にとどめます。できるだけ延焼を遅らせることで、ご家族が避難する時間も確保できます。

保険料が軽減される「省令準耐火仕様」

省令準耐火構造にするためにはファイヤーストップを設ける必要があります。天井・壁などの取り合い部にファイヤーストップ材を取り付けて区画し、住宅内部の火災拡大を防ぎます。

省令準耐火構造認定

一般の木材住宅に比べて

火災
保険料

地震
保険料

削減

ダウン

※詳しくは係員にお尋ねください。

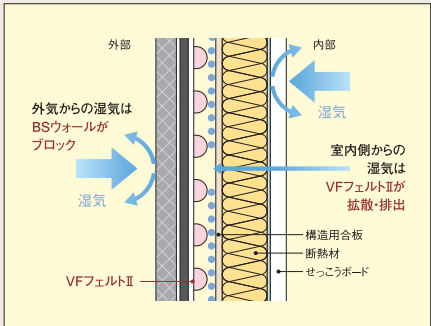
「省令準耐火仕様」の建物は火災保険・地震保険の保険料が通常の木造住宅に比べて大幅な軽減が可能となっています。

見えない所に施した永住にふさわしい信頼の高品質。

建物の耐久性を高める プレストロング工法を採用

構造体と外壁材との間に新開発の下地材「VFフェルトⅡ」を設け、空気とともに壁内部の湿気を外部に排出。建物内の結露を防ぎ、建物の耐久性を向上させています。

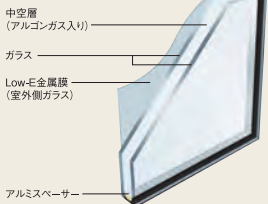
■プレストロング工法概念図



Low-Eペアガラス

居室の窓にLow-Eペアガラスを採用し、太陽光の熱を約60%、紫外線を約75%カット。夏の強い陽ざしから室内の快適環境を守ります。また、優れた断熱効果によって冷暖房効率を高めるため、光熱費の節約にも役立ちます。

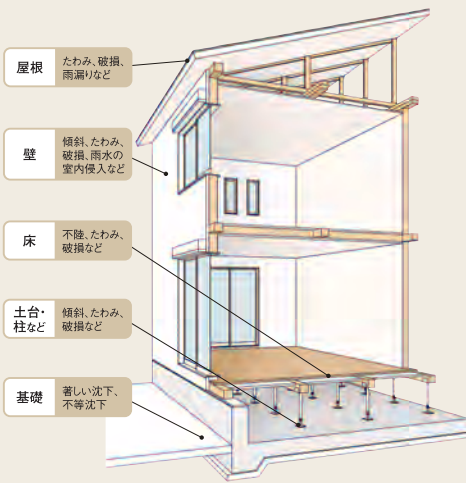
■Low-E複層ガラス



基礎・柱・梁など 基本構造部分の補修を10年間保証

住宅の品質確保の促進等に関する法律（品確法）に基づき、建物を構成する主要な構造部分、および雨水の進入を防止する部分については、10年間の瑕疵担保責任を負います。

※適用には諸条件がございます。



地盤保証システム

地盤保証システムは、建築基準法に準じた地盤調査の結果を第三者機関が評価し、適切な基礎仕様をご提案すると共に、不同沈下に対する原状回復を保証します。

保証期間	最長20年間
保証額	最高5,000万円 (税込)
免責	免責金額0円